

I. 北海道の地域特性と課題

1. 広域分散型の地域構造と社会資本の状況

北海道は全国の22%を占める広大な大地に都市が点在する広域分散型の地域構造を有しており、都市間距離は全国平均の約2～3倍で北海道の人口の約9割が圏域中心都市や市街地に居住しています。農水産物の全国シェアは耕地面積26%、農業産出額15%、漁業生産量30%を占め、国内の食料の安定供給に大きく貢献しています。北海道の強みである食や自然環境等を提供する地方部の生産空間と、生活サービスを担う地方部の市街地、高次のサービスを担う圏域中心都市とが重層的に機能分担し、相互に支え合う北海道型地域構造となっています。

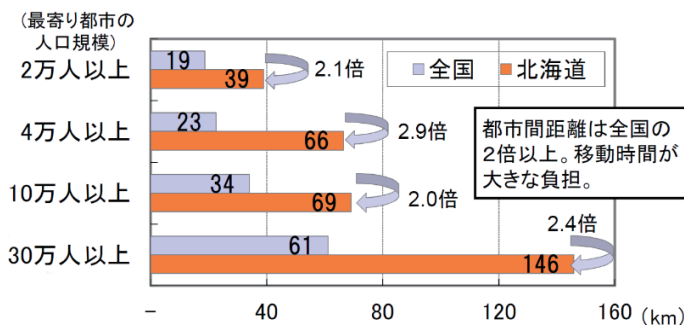
一方、道民生活や産業活動を支える高規格道路網の整備は全国に比べ遅れており、また、「防災・減災、国土強靭化」の対策でも未着手のものが多く早期の実施が必要な状況です。

生産空間(農林水産や観光等を担う地域)



北海道型地域構造

【出典：国土交通省】

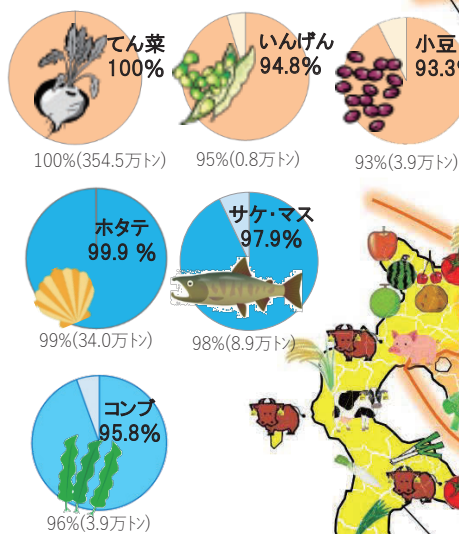


【出典：国土交通省】

最寄り都市までの平均道路距離

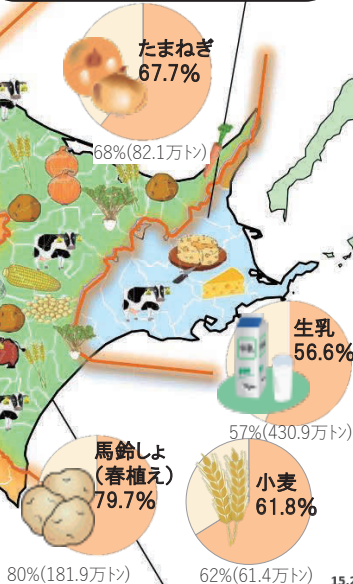
【道央地域(米+畑)】

(石狩、空知、胆振、日高、上川、留萌)
・稲作を中心に畑作・野菜などの農業が展開。



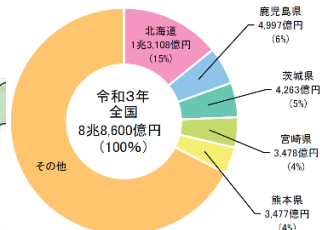
【道東/道北地域(酪農)】

(宗谷、釧路、根室)
・酪農を中心とした農業を展開。



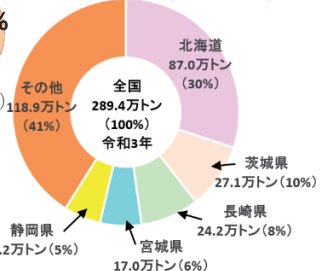
<農業>

農業産出額 1兆3,108億円
全国の15% (全国1位)



<水産業>

漁業生産量 87.0万トン
全国の30% (全国1位)



【出典：北海道農業をめぐる事情 (令和5年10月) (北海道農政事務所) 農林水産省統計情報 (令和4年)】

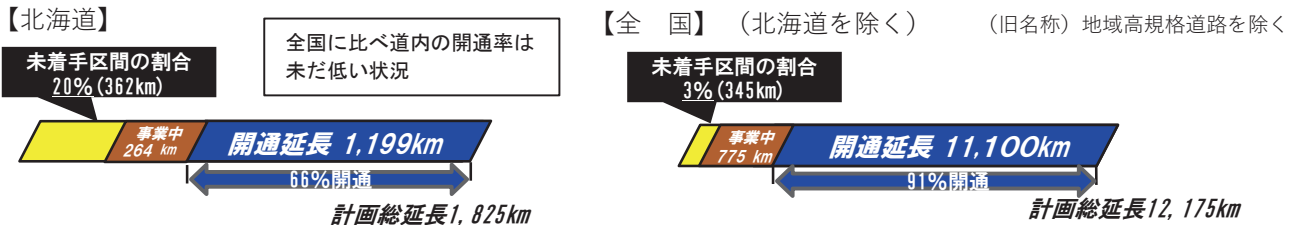
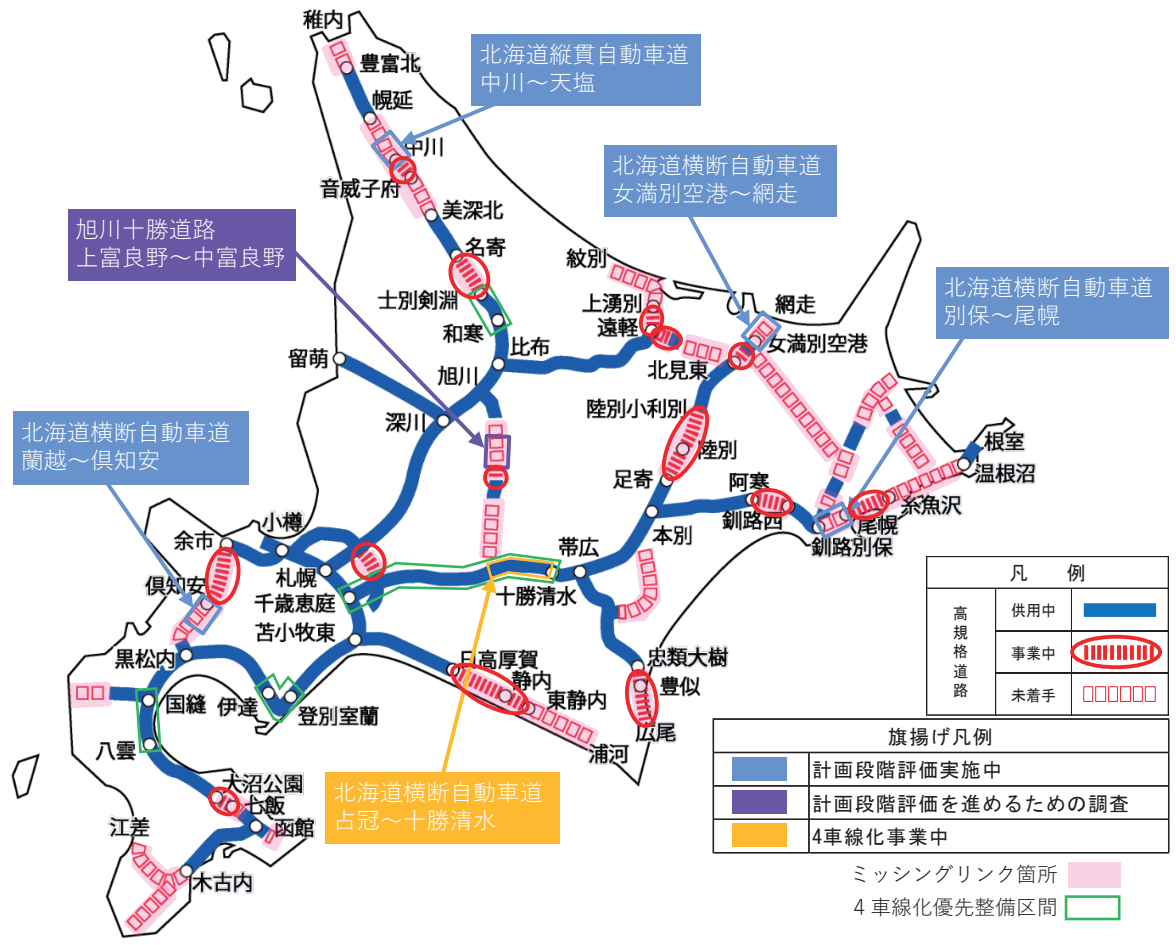
【道南地域(米+畑)】

(後志、渡島、檜山)
・稲作を中心としつつ、果樹など多様な農業が展開。

【道東地域(畑作+酪畜)】

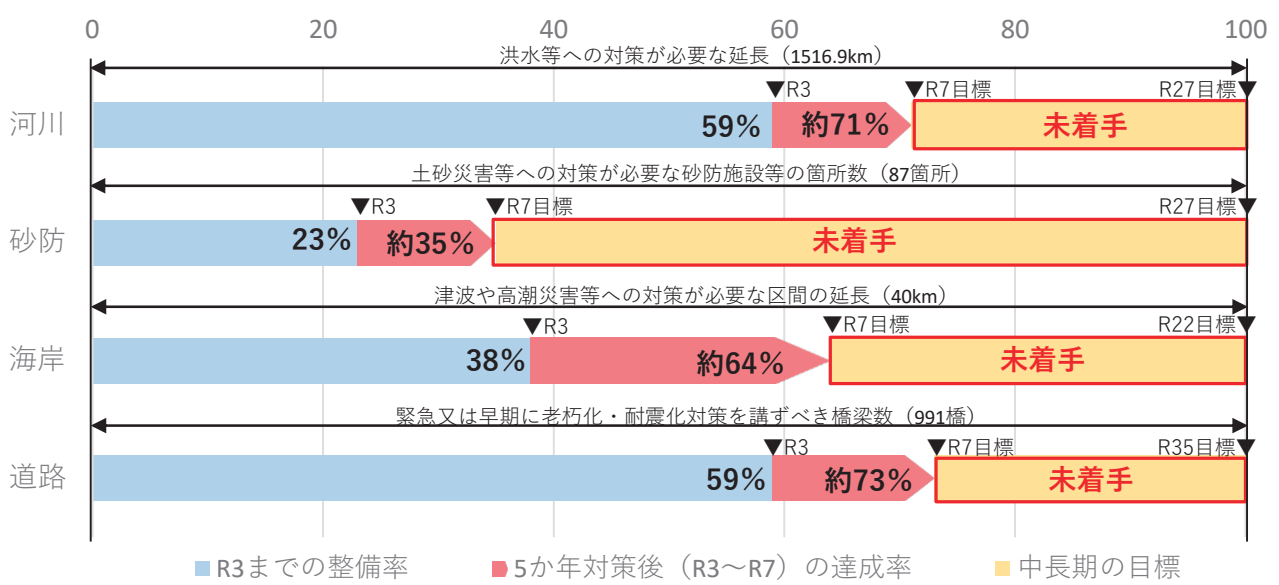
(オホーツク、十勝)
・畑作での輪作と酪農が中心の農業を展開。

北海道における主要な農水産物と全国シェア



高規格幹線道路の整備状況

【出典：北海道調べ】
令和6年3月31日時点



「防災・減災、国土強靱化」対策の進捗状況